

# 沖縄県ものづくり振興計画の要約

## 本計画の策定の趣旨・位置づけ・ポイント

- ・新・沖縄21世紀ビジョン基本計画における、ものづくり産業の基本施策を円滑に推進するための必要な方策、体制を示すものである。
- ・主に、食料品製造業と飲料・たばこ・飼料製造業を含む「食品飲料系」と、機械金属製品製造業と窯業・土石製品製造業を含む「機械金属系」に大別した分野を対象としている。
- ・計画実施期間は、令和5年度から令和8年度としている。
- ・計画の位置づけは、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画と実施計画のうち、ものづくり産業振興に掛かる項目について、目標達成を目指していく。

## 計画の構成

- 1 総説（策定の目的、対象分野、実施期間、計画の位置づけ）
  - 2 現状と課題  
(1) 県内ものづくり産業の現状 (2) これまでの取組み状況と成果 (3) アンケート及びヒアリング結果  
(4) 県内ものづくり産業の課題
  - 3 計画の基本方針  
(1) 沖縄県ものづくり振興計画の基本目標  
(2) 県内ものづくり産業振興の方向性
    - 【基本方策1】「つくる力」技術力の向上による新たな価値の創造
    - 【基本方策2】「のばす力」生産性向上による基盤技術強化
    - 【基本方策3】「つかみとる力」高付加価値商品による県外海外の成長市場の開拓と拡大
    - 【基本方策4】「ひとづくり」ものづくり産業の継続的発展の礎となる人材の確保と育成
  - 4 施策の展開
    - 【施策1】県内での調達率向上
    - 【施策2】先端研究や先端技術導入の促進
    - 【施策3】新たなニーズに対応する食品開発の支援
    - 【施策4】製造業の高度化、生産性向上を図るための体制づくり
    - 【施策5】ものづくりを支えるサポーターティング産業の振興
    - 【施策6】商品開発と品質向上
    - 【施策7】県産品のブランド形成
    - 【施策8】付加価値の高い製品開発を担う人材育成
    - 【施策9】ものづくり産業の魅力を発信
  - 5 ものづくり産業振興のための支援体制  
(1) ものづくり拠点の構築 (2) 県内支援機関の支援機能及び連携体制の強化
- ◎ 目標値
  - ◎ 施策のロードマップ
  - ◎ 進捗管理

## 目標値

目標値は、新・沖縄21世紀ビジョンにおける成果指標を用いることとする。(設定年度がR6、R9)

指標名	基準値	R6年度目標値	R9年度目標値
食料品製造業の製造品出荷額	1,589億18百万円 (R元年度)	1,964億59百万円	2,182億74百万円
製造品出荷額	4,143億83百万円 (R元年度)	4,710億60百万円	5,031億55百万円
製造業における付加価値額	1,758億46百万円 (R元年)	1,766億15百万円	1,828億34百万円
製造品移出額 (推計)	692億2百万円 (R元年度)	786億67百万円	840億27百万円
製造品輸出額 (推計)	198億90百万円 (R元年度)	226億11百万円	241億51百万円
県内で流通される製造品出荷額	3,257億5百万円 (R元年度)	3,702億53百万円	3,954億79百万円
製造業従事者数	25,359人 (R2年度)	25,934人	26,374人

**基本目標：本県の優位性を活かした基盤強化と成長戦略  
による持続発展可能なものづくり産業の実現**

## 基本方策の展開

### 本県製造業の課題

- ① 新商品開発や技術導入 ……県内ものづくり企業は中小企業が大部分、経営資源が乏しい等
- ② 生産性の向上 ……本県製造業の一人当たりの付加価値額が全国6割程度
- ③ 高付加価値化の促進 ……本県製造業は大量製造供給体制・廉価での製品販売は望めない等
- ④ 人材確保・人材育成 ……賃金・待遇面、製造現場など職場環境、高度技術人材の県外流出等

### 基本方策の展開:4つの基本方策と9の施策

〈基本方策1〉 つくる力 ～技術力の向上による新たな価値の創造

〈基本方策2〉 のばす力 ～生産性向上による基盤技術強化

〈基本方策3〉 つかみとる力 ～高付加価値商品による県外海外の成長市場の開拓と拡大

〈基本方策4〉 ひとつづくり ～ものづくり産業の継続的発展の礎となる人材の確保と育成

# 施策

## 施策1 県内での調達率向上

- ・市場における多種多様なニーズへの対応に向けて、県内製造業の製品開発力・製造技術力を高めることで技術競争力の強化を図るため、産学官連携による共同研究を促進し、県内ものづくり産業の高度化を促進する。
- ・共通する技術課題やテーマを企業間や大学、研究機関と議論し交流する場を設定することで、企業間での新たな共同プロジェクトの創出を促す。
- ・県内企業への優先発注及び県産品優先使用に基づく取組を推進し、県内企業への発注を促進・拡大し、県内調達率の向上を図る。
- ・複数の企業によるネットワークにより、県内外からの高度な発注要求や大規模な発注を共同で受注できる体制の構築を促す。

## 施策2 先端研究や先端技術導入の促進

- ・多様化するニーズに対応する先端技術の導入に取り組む企業の課題に対して、専門的な相談対応、支援・指導するための体制を強化する。
- ・高い技術力を有する誘致企業と連携することで、県内ものづくり企業の技術力強化を図るとともに、国内の優れた中小企業のものづくり拠点の形成を目指す。
- ・次世代のものづくりを支える先端技術のシーズや最新の情報等の調査研究を推進し、企業の技術開発・導入を支援する。

## 施策3 新たなニーズに対応する食品開発の支援

- ・県外・海外市場のニーズに対応するための日持ち商品の開発や、機能性の高い食品、付加価値の高い嗜好品等の開発を支援するため、製品開発に係る相談に対応する体制を強化する。
- ・副産物等の有効活用による新たな製品開発などの社会ニーズに対応した食品開発の取り組みを支援する体制を整える。
- ・産学官連携や企業間連携により、食品開発におけるイノベーション創出を図る。

## 施策4 製造業の高度化、生産性向上を図るための体制づくり

- ・製造業の基本である現場活動5S＝整理・整頓・清潔・清掃・しつけの徹底によるQCD（品質、コスト、納期）の管理・改善活動によって生産性の向上や職場環境の改善に取り組む企業の相談対応等支援を行う。
- ・製品製造に伴う廃棄物処理等に掛かるコストの軽減につながる技術の開発、及び有効利用の支援を図る。
- ・デジタル技術に対する中小企業の経営者の意識の向上を図るため、デジタル技術導入の成功事例の発信を行うとともに、経営者と外部専門家双方の視点を組み入れた最適なソリューションに到達できるように、県内IT支援機関との連携によるデジタル技術活用やDXに関する相談体制を構築する。
- ・工業技術センターが有する工業系技術やノウハウをベースに、技術課題を有する企業のデジタル技術を導入する取り組みに対して支援を行う。
- ・IoT・AIなどのデジタル技術を導入・活用することで生産現場の改善を促し生産性向上を図るとともに、働きやすい職場環境づくりを行うことで人手不足の解消に繋げる。

### 施策5 ものづくりを支えるサポーターティング産業の振興

- ・高い技術力を有する誘致企業と県内ものづくり企業が共同研究を行うなどの動きを促進し、県内企業の研究開発型・未来志向型への転換を図り、国内の優れた中小企業のものづくり拠点の構築を目指す。
- ・企業間連携・産学官連携による共同研究により、技術テーマの共有・研究に取り組むことで生産性向上に資する生産性技術開発を促す。
- ・技術テーマの研究開発を担う県内人材の育成を図る。

### 施策6 商品開発と品質向上

- ・市場ニーズや多様な嗜好性をマーケットイン視点でとらえた商品企画・製品開発を研究開発・製造技術面から支援する。
- ・主に食品製造業において、県内外の多様な消費者のニーズや時代の変化に対応した商品開発に必要な技術の取得を支援する。
- ・法令順守をはじめ品質確保および品質向上を図り、製品の開発・製造・展開を継続的に取り組む企業を支援する。
- ・県内建設市場の需要に応じた金属加工系製造業の製品供給における技術の導入を支援するとともに、県外市場において競争優位性のある製品展開を支援する。

### 施策7 県産品のブランド形成

- ・本県の優位性である亜熱帯性の県産生物資源の機能性等に関するエビデンスを蓄積し、県内企業による製品開発や情報発信への活用を促進することで、県産品の優位性発信によるブランド価値形成・向上を図る。
- ・商品の背景にある本県独自の歴史、文化を発信する取り組みを支援し、県産品のブランド価値向上を図る。
- ・県産生物資源を最大限有効活用する製品開発や加工技術、試作等の企業の取り組みを支援し、競争優位性の高い商品開発を促進・拡大する。
- ・県内外・海外の市場のニーズをとらえた製品開発を技術面で支援することで新商品や新しい酒類の開発を促す。

### 施策8 付加価値の高い製品開発を担う人材育成

- ・工業技術センターによる研修生受け入れや、実践を通じた技術系人材の育成を支援する。
- ・県外ものづくり企業や研究機関、大学等との人的交流や、共通する技術テーマを議論する場を設定し、単発のセミナー開催ではない継続的に課題を追いかける場づくりによって本業でのプロジェクトを創出することができる人材育成を支援する。
- ・マーケティングや経営全般等に関する知見を有し、将来の技術系リーダーの育成を目指す企業の取り組みを支援する。

### 施策9 ものづくり産業の魅力を発信

- ・次代を担う学生や若者に対して、沖縄のものづくり産業の魅力を発信する。
- ・デジタル技術の活用等により働き方の改善による人材確保に取り組む企業を支援する。
- ・若手人材の育成やリスキリングへの取り組みを支援する。
- ・社外との交流により業界内の共通課題を協議ができる場を設けるなど、従業員の自己実現をサポートし雇用の継続に取り組む企業を支援する。

## ものづくり産業振興のための支援体制

### ものづくり拠点の構築

- ・産学官連携による研究開発・技術導入の推進
- ・先端的な研究開発の推進

### 県内支援機関の支援機能及び連携体制の強化

- (1)沖縄県工業技術センターの体制強化と新たな役割
  - ・市場ニーズに対応した商品開発に係る技術プランニング支援機能及び試作支援体制の強化
  - ・デジタル技術活用等の新たな技術分野へ対応するための体制強化
- (2)県内支援機関連携による生産性向上デジタル化相談支援  
県内支援機関が連携したデジタル化導入支援等

## ロードマップ、進捗管理

### ロードマップ

- ・各施策について、計画期間で取り組む内容のロードマップ(タイムスケジュール)を示す。

### 進捗管理

- ・沖縄県PDCAによる事業の円滑な推進
- ・外部有識者による計画の評価・検証